



力強く口上を述べる若き夕陽会員



米まけば米の草生え

夕陽会函館市支部 支部長 風間和夫
(昭和五十七年卒)

四月一日に函館市小中学校再編計画の一
第一号となる「函館市立五稜郭中学校」
が開校いたしました。昨年度は歴史と伝
統溢れる大川・五稜・桐花中のそれぞれ
が閉校式を挙行し、様々な想いや願いを
託しながら五稜郭中学校にバトンを引き
継ぎました。

桐花中閉校式の式辞では第三代校長、
柏崎賢次郎校長先生の言葉を以下のとお
り引用させていただきました。

「米まけば米の草生え米の花咲きつ
米の実る世の中」 米をまくというのは
種のものみをまくということです。米をま
けば米がみのるし、豆をまけば豆、麦ま
けば麦、すべてまかぬ種は生えません。
もしこれを精神的なことにおきかえて、

「悪」がまかれるとしたら、「悪」がはび
こる世の中になるでしよう。反対に私た
ちは「善」をまくようにして善のさかえ
る世の中にしたいものです。建設には汗
と努力が必要です。切り開くがんばりが
なくてはなりません。米をまくまでは苦
しい作業をして、みのるまでは常に働き
続けるのでしよう…。 略

柏崎先生は新校舎に移転し、新たな校
風をつくりあげる生徒に対して、二宮尊
徳の道歌集を引用しながら建設すること
の喜びと努力する大きさを説いたのだと
思います。先生は昭和四年卒、夕陽の大
先輩です。正に「土地墾闢・人民蕃殖」

の精神そのものと考えます。

五稜郭中学校の校歌についても少し触
れたいと思います。縁あって作曲を函館
市文化・スポーツ振興財団理事長の佐々
木茂先生にお願いいたしました。作詞は
佐々木先生のご尽力を賜り、日本を代表
する詩人、原子修先生に快くお引き受け
いただきました。原子先生は現在小樽在
住ですが、先生もまた夕陽会員です。昭
和三十年卒、初任は函館市立中央中学校
とお聞きしております。

「心の空にでる虹は いつまでも消え
ない理想を 美しく奏でます：」から始
まる原子先生の詩ですが、見事にその言
葉のひとつひとつに知徳体の意味が込め
られています。

五稜郭中学校に新しい米の種を持き、
教職員、地域や保護者そして生徒と共に
汗を流し、立派に実らせなければならな
いと強く思っている今日この頃です。

夕陽会函館市支部長を仰せつかり二年
目となります。四月の総会でご承認いた
だいた活動計画に従い、誠心誠意務めて
参ります。地域貢献につきましては昨年
同様、市の施設へ何か役立つものを寄贈
したいと考えております。二月の受賞祝
賀会も例年通り開催の予定です。

会員の皆様のますますのお力添えをど
うぞよろしくお願ひいたします。

信頼される学校づくりを目指して



函館市立
万年橋小学校長
前田 知彦
(昭和六十年卒)

本校は、今年度開校九十年を迎えた。その伝統ある学校に、この四月より校長として採用され赴任いたしました。四月一日、校長室に掲げられた歴代校長の写真を見て、その二十九人目として恥じぬよう、歴史と伝統を引き継ぎながらも、これから的新しい時代をたくましく生き抜く子供を育成し、よりよい学校を創り上げていこうと、改めてその使命感と責任の重さを自覚しました。

本校の今年度の重点教育目標は、「学ぶ楽しさを実感し、ともに学び合う子」です。本校児童百三十九名と教職員二十名

決意新たに心を込めて



函館市立
戸倉中学校長
佐々木理之
(昭和六十三年卒)

本校は、函館市東部地区の人口増による湯川中学校の過密解消すべく昭和四十八年に開校いたしました。現在、約三百名の生徒が在籍しています。近隣には、幼稚園・小学校・短大・大学・高専が建ち並び、戸倉が丘に文教地区を形成しています。

四月一日に緊張感いっぱいで本校に赴任した私ですが、新年度の生徒の活動を支えるために生き生きと協働する教職員の情熱、本校にかかわった全ての人々が愛する校歌を五感で感じ、改めて学校経営への勇気と希望が湧いてきました。

は、その達成に向け保護者や地域と連携しながら教育活動を推進しています。五月二十八日に開催した「開校九十年記念大運動会」では、その取組の中で、高学年が低学年のダンスを教えたり、低学年が高学年の踊るよさこいソーランと一緒に踊つたり、仲間と協力して係の仕事をしっかりと果したりと、まさに

「ともに学び合う」微笑ましい姿が随所で見られました。保護者アンケートでも高い評価をいただき、子供たちも教職員も達成感を味わうことができました。こうした実践の成果を一つひとつ積み重ねながら確実に子供たちに力をつけ、その成長を通して保護者・地域から信頼される学校を目指していく所存です。

夕陽会の皆様には、これまで同様にご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

「ともに」の心で



函館市立
八幡小学校教頭
大室 文子
(平成元年卒)

この度の異動により、函館市立八幡小学校で教頭に昇任いたしました。

本校は平成二十五年度から学校力向上に関する総合実践事業の指定を受け、包括的な学校改善に取り組み、「学び続ける学校」として実践の成果の普及や、将来のスクールリーダーの継続的な育成を目指す取組を行っています。四年目を迎えた今年度は、「学校力第二ステージ『チーム八幡』」のCHANGE 子どもの育ちが見えるいい学校を創ろう」と事業をすすめているところです。

新たなお気持ちで



函館市立
日新中学校教頭
宮前 由一
(昭和六十三年卒)

四月の異動で、函館市立日新中学校の教頭として赴任いたしました。

函館市東部の旧戸井町に位置する本校は、今年で開校七十周年を迎えます。津軽海峡を眼前に見下ろし、ツツジが咲く丘の上に立つ、自然豊かな学校です。生徒は今年度二十名、教職員十三名という小規模校ではありますが、保護者や地域の方々の温かい支援のもと、日々の学習活動に取り組んでおります。また私事ですが久々に公宅居住となり、昭和の香りがする公宅で新卒当時の初心を思

い起こしながら過ごしている次第です。赴任初日、玄関でとても礼儀正しく大きな声で挨拶する生徒に迎えられました。直立でしつかり挨拶する姿は、その昔、全国大会出場を輩出していた部活動からの伝統だと地域の方から聞きました。

『地域の誇り』としての学校を目の当たりにし、あらためて自分の置かれた立場に身の引き締まる思いをしました。

また、本校は『確かに学力をもち、郷土愛に満ちた生徒の育成』という重点教育目標のもと、特色ある「ふるさと学習」として、地元の魚介類の調理体験などを展開しています。校長の理念と方針のもと、職員と一緒に、望ましい生徒の育成と地域の付託に答えるべく、微力を尽くす所存です。

教頭になり、変わったことの一つに「座席」があります。これまで見る側であつたのが、一転、職員室の中心で見られる側になりました。先生方への対応はもちろん、来客対応、電話対応、身だしなみなど、言動の一つ一つを見られることを意識するようになつてきました。ただ、昨年度まで同じ立場の教員だった私は、肩肘張らずに仕事のしやすい職場の風土づくりや保護者、地域との関係づくりに努めたいと思います。その時に心掛けているのが、「ともに」の心です。自分から進んで話しかけ、互いに理解し合い、前向きな言葉で職務を進め、笑顔で対応すること。座席は変わったけれど、見ていたときの立場を忘れず、教員の経験がなければ就くことのできないこの教頭職を「ともに」の心で努めて参ります。今後も夕陽会の皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願ひいたします。

初心



函館市立
柏野小学校
橋 雄基

(平成二十六年卒)

この春、函館市立柏野小学校に着任しました橋雄基です。元気いっぱいの三年生三十四人の担任として働くことができる喜びと、子どもたちの成長に対する使命と責任を、日々身にしみて感じています。

私は平成二十六年に北海道教育大学を卒業し、二年間の期限付きを経て採用されました。その間、私自身が子どもたちから学んだり、同僚や保護者の皆さん、また夕陽会の諸先輩方に多くの支えや励ました。言葉をいただいたりすることがあつて今があると常々実感させられます。また夕陽会の先生方に多くの方に相談を重ね、自分の中でのひたすらもがきました。冷静に自分を見つめ、まだ青い私に何ができるか考えた時、子どものを見て話を聞いてひたすら遊んで対話することでした。すると、その積み重ねがいつしか子どもとの距離を本當の意味で縮め、自分の言葉が少し通るようになつた気がしました。まだまだ遊んでいたからも尽力していく覚悟です。

まだ未熟者ではありますが、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

新会員になつてつながらなつて

新しいノート



函館市立
湯川中学校
猪股 正貴

(平成二十五年卒)

平成二十五年三月に北海道教育大学函館校を卒業し、二年間の期限付きを経て、今年度から函館市立湯川中学校に着任いたしました。豊かな心を持つ生徒たちと日々たくさんのこと教えて下さる素敵な先輩方に囲まれ、充実した毎日を過ごしています。

「失敗を恐れず、できることから挑戦しよう！」という考え方のもと、生徒たちと私自身、多くの失敗をしながら向き合い、かかわっています。小さな自己実現は、今後の大きな自己実現へへの芽吹きだと思います。それができるような場面の設定や指導を心がけていますが、経験不足、力不足のためまだ理想への道のりは遠いです。それでも、先輩方からと子どもに入るような指導ができませんでした。上手くいかない自分に悩み、「から」なんて言葉をかけられました。しかし、楽しく遊ぶことはできても、スッ一年目、「若い先生は子どもと距離が近いから」という言葉をかけられました。だから学年目、一年生は子どもと距離が近いから」という言葉をいただいたりすることができました。その間、私自身が子どもたちと距離が近づきました。冷静に自分を見つめ、まだ青い私に何ができるか考えた時、子どものを見て話を聞いてひたすら遊んで対話することでした。すると、その積み重ねがいつしか子どもとの距離を本當の意味で縮め、自分の言葉が少し通るようになつた気がしました。まだまだ遊んでいたからも尽力していく覚悟です。

この先、多岐にわたる教育活動に悩み、苦しむことがたくさんあると思いますが、

失敗を恐れず、できることから挑戦する気持ちと行動を大切にしていきます。

また、教育者として「教育は人なり」とあるように、自己の資質を高め、心や能力の豊かな生徒の育成に携われるよう、一層の努力をしていきます。これからも「子どものために」というぶれない判断基準をもつて、目の前の子どもたちのたまにこれからも尽力していく覚悟です。

まだ未熟者ではありますが、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

新会員になつて



函館市立
亀田中学校
伊藤 拓馬

(平成二十七年卒)

平成二十七年三月に北海道教育大学函館校を卒業し、昨年四月より函館市立亀田中学校にて、一年間期限付き教諭を経験し、この春再び函館市立亀田中学校に転職いたしました。大学在学時よりお世話になった先輩方に囲まれ、充実した毎日を過ごしています。

現在は、一年生三十三人の担任として、忙しくも充実した日々を送っています。

毎日がとても新鮮で、子どもたちから学ぶことは多くあります。それと同時に新しい壁にぶつかることもあります。悩みは様々で、学級経営をはじめ、教科指導、生徒指導、部活動指導でした。そんな時には、夕陽会の先生方をはじめとした同僚の先生方が快く助言やアイディアをください、指導の改善に生かすことができました。今後も日々学ぶ姿勢を忘れずに、自分でできることを全力で行い、教師としての力をつけていきたいと思います。

最後になりましたが、これから続く教員生活でも様々な困難が待ち受けています。その中でも、自分にできることを一つ一つしっかりとこなし、精一杯努力していきたいと思います。この先も関わっていく子どもたちや夕陽会の会員の皆様など、人ととの繋がりを大切にし、教師として日々精進していきます。

夕陽会の諸先輩方、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

つながる



函館市立東小学校
養護教諭
松浦 晶子

(平成十一年卒)

私は平成十一年三月に北海道教育大学函館校養護教諭特別別科を修了しました。別科を修了後、教員採用試験を受験していましたが採用は厳しく看護師として勤務していました。教員採用試験受験資格最後の年齢があつた昨年教員採用試験を受験し、この春函館市立東小学校に赴任いたしました。今は養護教諭として勤務であります。子どもたちと一緒に過ごしています。

養護教諭の仕事はまだわからぬことがあります。それでも、教職員の方々や児童に迷惑をかけていることに喜びながら毎日素敵なお話を聞いた函館館で、教師として働けることをとても嬉しく思います。

現在は、一年生三十三人の担任として、忙しくも充実した日々を送っています。

毎日がとても新鮮で、子どもたちから学ぶことは多くあります。それと同時に新しい壁にぶつかることもあります。悩みは様々で、学級経営をはじめ、教科指導、生徒指導、部活動指導でした。そんな時には、夕陽会の先生方をはじめとした同僚の先生方が快く助言やアイディアをください、指導の改善に生かすことができました。今後も日々学ぶ姿勢を忘れずに、自分でできることを全力で行い、教師としての力をつけていきたいと思います。

最後になりましたが、これから続く教員生活でも様々な困難が待ち受けています。その中でも、自分にできることを一つ一つしっかりとこなし、精一杯努力していきたいと思います。この先も関わっていく子どもたちや夕陽会の会員の皆様など、人ととの繋がりを大切にし、教師として日々精進していきます。

夕陽会の諸先輩方、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

五、広報活動の充実を図り、地域に貢献できる組織を目指す。

四、会員の動向を的確にとらえ、組織強化ならびに会計の効率化を図る。

三、会員の慶弔に対し、適切に対処する。

二、幹事と若手会員を核に、「創造し行動する夕陽会」の浸透に努める。

一、会員の動向を的確にとらえ、組織強化ならびに会計の効率化を図る。

一、本部との連携を深め、会員親睦の充実に努める。

二、幹事と若手会員を核に、「創造し行動する夕陽会」の浸透に努める。

三、会員の慶弔に対し、適切に対処する。

四、会員の動向を的確にとらえ、組織強化ならびに会計の効率化を図る。

五、広報活動の充実を図り、地域に貢献できる組織を目指す。



二、主な業務内容									
一小学校長会長	元支部長	元支部長	元支部長	元支部長	元支部長	元支部長	元支部長	元支部長	元支部長
戸澤和彦	岡野伸彦	三島千二	三島春史	木昌信	青木信	坂上博	寺内昭治	藤谷弘	川島利宏
54年卒	54年卒	54年卒	53年卒	49年卒	47年卒	44年卒	42年卒	42年卒	39年卒
二、受賞祝賀会	三、支部会報の発行(九月・三月)	四、新会員・転入会員・幹事懇親会	五、役員会・顧問会	六、本部事業への協力(総会・懇親会・その他)	七、会費(本部会費・支部会費)の集約	八、特別業務	九、結婚会員へのご祝儀・祝電	十、逝去会員へのご香典・弔電	十一、昇任会員への祝電

○顧問									
副幹事長	幹事長	監査	副支部長	役職	氏名	風間和夫	寺本公彦	宇佐美雅司	寺本公彦
高橋聰	中田和子	佐藤雅博	田湯義浩	原眞之	顕彰	58年卒	57年卒	卒業年次	卒業年次
平元年卒	63年卒	62年卒	62年卒	63年卒	41年卒	62年卒	58年卒	西館市立五稜郭中学校	西館市立五稜郭中学校
西館市立五稜郭中学校	西館市立五稜郭中学校	西館市立深堀中学校	西館市立深堀中学校						
所	所	所	所	所	所	所	所	西館市立日吉が丘小学校	西館市立日吉が丘小学校
職	職	職	職	職	職	職	職	委員会	委員会

支部役員・業務内容

○役員

- ● ● 受賞会員、昇任会員への祝電
- 結婚会員へのご祝儀・祝電
- 逝去会員へのご香典・弔電
- 会費(本部会費・支部会費)の集約
- 特別業務
- その他)

平成27年度 一般会計決算書

1. 収入の部

項目	27年度予算額	27年度決算額	増減(▲)	摘要
会費	現職会員 720,000	718,000	▲ 2,000	718名×1,000円
会費	年会費 30,000	32,000	2,000	年次会員32名
総額	93,996	93,996	0	
総額	140,000	140,000	0	前納会計から
補助	0	15,211	15,211	
収入	1,004	101	▲ 903	利子
合計	985,000	999,308	14,308	

2. 支出の部

項目	27年度予算額	27年度決算額	増減(▲)	摘要
事務費	100,000	54,759	▲ 45,241	コピー代、用紙、封筒
事業費	432,000	397,994	▲ 34,006	会報、広告代
会議費	230,000	196,930	▲ 33,070	幹事・新会員懇親会等
慶弔費	160,000	162,914	2,914	祝電、結婚祝い金、弔電、香典
振込手数料	50,000	32,730	▲ 17,270	各種会費等振込手数料
雜費	5,000	0	▲ 5,000	
予備費	8,000	0	▲ 8,000	
合計	985,000	845,327	▲ 139,673	

〈収支決算〉	収入	支出	残高
	999,308	845,327	153,981

平成28年度 一般会計予算書(案)

1. 収入の部

項目	27年度予算額	28年度予算額	増減(▲)	摘要
会費	現職会員 720,000	720,000	0	720名×1,000円
会費	年会費 30,000	32,000	2,000	年次会員32名
総額	93,996	153,981	59,985	
総額	140,000	140,000	0	前納会計から
補助	0	0	0	
収入	1,004	119	▲ 885	利子等
合計	985,000	1,046,100	61,100	

2. 支出の部

項目	27年度予算額	28年度予算額	増減(▲)	摘要
事務費	100,000	110,000	10,000	コピー代、用紙、封筒
事業費	432,000	442,000	10,000	会報、広告代
会議費	230,000	250,000	20,000	幹事・新会員懇親会等
慶弔費	160,000	180,000	20,000	祝電、結婚祝い金、弔電、香典
振込手数料	50,000	50,000	0	各種会費等振込手数料
雜費	5,000	5,000	0	
予備費	8,000	9,100	1,100	
合計	985,000	1,046,100	61,100	

平成27年度 前納会計決算書

〈収支状況〉

前年度残高	2,173,969
H27年度納入額	130,000
利子収入	209
一般会計へ	140,000
合計	2,164,178

〈残高明細〉

種類
普通預金1 2,164,178
普通預金2 465,525
合計 2,629,703

平成28年度 前納会計予算書(案)

〈収支状況〉

前年度残高	2,629,703
H28年度納入額	100,000
一般会計へ	140,000
合計	2,589,703



白	北	五	桔	赤	深	凌	宇	潮	西	臼	磨	榎	東	東	高	駒	柏	千	代	八	港	八	北	学校名			
尻		稜	梗	川	堀	雲	の	浦		見	尻	光	法	山	丘	場	野	ヶ	岱		幡		星				
郭		中	中	中	中	中	中		中	中	小	小	華	小	小	小	小	小	小	小	小	小					
村	岡	越	南	岸	種	浦	弦	山	松	工	浦	花	佐	福	佐	柿	高	高	古	筑	島	伊	成	転入会員			
田		田	谷	野	市	田	木	家	田	藤	上	田	藤	島	木	崎	橋	橋	谷	田	藤	田	浦				
友	和	麻	祐	竜	慎	の	佑	賢	一	修	久	君	秀	由	雄	吉	賢	美	修	哲	真	明	桃				
稔	紀	成	子	太	太	一	こ	太	治	之	一	美	博	三	佳	二	隆	聰	一	子	一	朗	里	務	海	子	剛
H	H	H	H	H	H	S	H	H	S	S	S	H	H	H	S	H	S	H	H	S	H	H	S	卒	年		
2	16	3	13	20	21	62	16	21	60	61	63	62	62	15	7	63	1	60	21	2	62	7	14	58	1	20	62

五 稜 郭 中	宇 賀 の 浦	亀	湯	光	高	柏	鍛	東	学校名		
		田	川	成	丘	野	神				
赤 葉 慎 司	伊 坂 拓 誠	塚	三	橘	中	市	池	松	新採用会員		
		藤	股	野	浦	島	川	田			
猪 正 太 貴	塚 正 太 朗	雄	亮	友	虹	晶			卒年		
		茉	友	虹	晶						
塚 基 香	太 基 香	太	基	太	香	香	子		卒年		
		馬	貴	朗	衣	基	太	香			
H 28	H 28	H 27	H 25	H 25	H 28	H 26	H 22	H 19	H 26	H 11	卒年

戸湯深的光港凌宇潮西大臼磨榎え日戸南本東神鍛北中赤亀昭北中桔石東旭上高湯
倉川堀場成雲見船尻光法さん新井本通山山神原央川田和梗崎岡丘川
中中中中中中中中小小小小小小小小小小小小小小
山猪高濱塚本葛赤山横石中篠木武奥中白前福糸中明高山佐々小加福弓佐三安土大橋
田股木出野谷西坂家山垣村森村田平里戸島畠嶋戸谷本木林藤島庭藤橋倍田場
好正有和太佑正友伸友真礼秀由亮泰亜圭隆良佳慈慎美惠千明大
一貴麻隆朗聰猛誠太豪樹美浩三里紀敦子学三佳太子姫一行子帆智子輔

6 14 12 15 6 7 9 4 8 5 5 5 5 10 4 6 6 3 4 6 10 13 13 12 16 15 9 12 17 12 9 23 3 6 6 6 7 13 11

夕陽会函館市支部規約

平成28年9月20日(6)

第一条 この会は、北海道教育大学夕陽会函館市支部と略称する。)

第二条 この会の事務局は、支部長の勤務先に置く。

第三条 この会は夕陽会会則に基づき、支部会員相互の親睦と発展を図ることと共に、地域の教育・文化の進展に寄与することを目的とする。

第四条 この会は、その目的を達成するため次のことを行う。

一、総会

二、懇親会

三、会員の慶弔に関すること

四、支部会報の発行

五、教育研究諸会合

六、その他必要と認められるもの

第五条 この会は、函館市及びその近郊に在住する次の各号に該当する者をもつて会員とする。

一、北海道函館師範学校卒業生

二、北海道第二師範学校卒業生

三、北海道学芸大学函館分校卒業生

四、北海道教育大学函館分校卒業生

五、北海道教育大学函館校卒業生及び大学院修了生

六、母校に在学した者（講習科、養成所も含む）

第六条 この会の役員は次のように定める。

一、役員

(一) 支部長 一名

(二) 副支部長 二名

(三) 幹事長 一名

(四) 副幹事長 若干名

(五) 幹事 若干名

（六）監査委員 三名

一、総会

（一）定期総会は、年一回支部長が招集し、会務、会計、規約、役員、より選考し、総会の承認を求めれる。

（二）副支部長、幹事長、副幹事長は毎に一名を選出し、支部長が委嘱する。

（三）幹事は、勤務先その他プロック毎に一名を選出し、支部長が委嘱する。

（四）支部長は、支部を代表し会務を統理する。

（五）副支部長は、支部長を補佐し、支部長に事故ある時はこれを代行する。

（六）幹事長は、支部長の命を受け、会務を処理する。

（七）副幹事長は、幹事長を補佐する。

（八）幹事は、勤務先その他プロックを代表し、会務を分担する。

（九）監査委員は、支部の会務及び会計を監査する。

（十）幹事長は、幹事長の命を受け、会務を処理する。

（十一）副幹事長は、幹事長を補佐する。

（十二）幹事は、勤務先その他プロックを代表し、会務を分担する。

（十三）監査委員は、支部の会務及び会計を監査する。

（十四）幹事長は、幹事長の命を受け、会務を処理する。

（十五）副幹事長は、幹事長を補佐する。

（十六）幹事は、勤務先その他プロックを代表し、会務を分担する。

（十七）監査委員は、支部の会務及び会計を監査する。

（十八）幹事長は、幹事長の命を受け、会務を処理する。

二、幹事会

必要に応じて支部長が招集し、この会の基本的な事項について協議し遂行する。

三、その他、必要とするもの。

一、会費

（一）通常会費は、年額一、〇〇〇円とする。

（二）前納会費は、別途規定を設ける。

（三）寄附金

（四）事業による収益金

（五）その他

（六）会員の結婚は祝儀五、〇〇〇円と祝電

（七）会員の受賞、栄進等は祝電

（八）会員の死亡は香典五、〇〇〇円と弔電

（九）その他必要なものは、支部長、副支部長、幹事長の協議による。

（十）会員の死亡は香典五、〇〇〇円と弔電

（十一）この会の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終わる。

支部受賞祝賀会・会員懇親会のお知らせ

会場・ロワジールホテル函館
日時・来春 二月一七日(金)
午後六時三〇分より

※支部最大の行事です。たくさんの方々で大いに盛り上げていただけるようお願いいたします。

事務局だより

△ 去る五月一二日(木)、「新会員・転入会員・幹事懇親会」をホテル法華クラブ函館で開催いたしました。夕陽会会長橋田様によるご祝辞、伊藤顧問による祝杯で懇親会が始まりました。新会員、転入会員の方お一人お一人から、近況報告もかねてご挨拶いただきました。その後、本支部の小山内顧問より新会員の方々に励ましのお言葉があり、非常に温かい雰囲気の中で時間が忘れるほど盛会の内に終了することができました。

△ 入会員・幹事懇親会をホテル法華クラブ函館で開催いたしました。夕陽会会長橋田様によるご祝辞、伊藤顧問による祝杯で懇親会が始まりました。新会員、転入会員の方お一人お一人から、近況報告もかねてご挨拶いただきました。その後、本支部の小山内顧問より新会員の方々に励ましのお言葉があり、非常に温かい雰囲気の中で時間が忘れるほど盛会の内に終了することができました。

△ 今年度の各学校の会員名簿作成、本部総会・大懇親会の参加者名簿の提出、会費・大懇親会費の納入、本部会報の配布等、ご協力に感謝申し上げます。

○ 来春二月一七日(金)、例年同様、支部の受賞祝賀会及び懇親会を予定しております。その節は多くの会員の参加をよろしくお願いいたします。

△ 会員の慶弔がございましたら、事務局の佐藤までご一報ください。

第七条 この会は、顧問を若干名置くことができる。

一、顧問は、この会の重要な事項に関し支部長の諮詢に応じる。

二、顧問は、支部長が委嘱する。

三、この会の会議は、次のように定める。

付則

平成五年四月十七日 改正

平成九年四月十九日 改正

平成十三年四月二十一日改正

平成十八年四月十五日 改正

△ 夕陽会函館市支部 事務局
〒041-0811 函館市富岡町一丁目一八番二号
函館市立五稜郭中学校内
電話番号(0一三八)四一一一三三三二
FAX番号(0一三八)四一一一三一六